

センターだより第10号
令和7年5月28日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター
センター長 上ノ町 仁

新規受託開始・中止のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目におきまして株式会社エスアールより新規受託開始及び中止について連絡がありましたのでご案内いたします。
今後とも当臨床検査センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

■ 受託開始日

2025 年 5 月 31 日（土）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2550000 (6191)	Mac-2 結合蛋白 糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量 5C141-0000-023-052	血清 0.5	生化学	冷蔵 (14日)	2~4	194 ※4	CLEIA	0.84未満 (AU/mL)	

※4：生化学的検査（I）判断料

■ 受託中止日

2025 年 5 月 30 日（金）ご依頼分まで

項目コード (4桁コード)	項目名	最終受託日
2529100 (5459)	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi)	2025年 5月 30日（金）ご依頼分まで

以上

臨床検査センターに関するお問い合わせやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。
鹿児島市医師会臨床検査センター 電話：099-226-8827

● Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量

カットオフインデックス (C.O.I.) から定量値での評価が可能となりました。

.....

M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体：Mac-2-binding protein glycosylation isomer) は、肝生検との一致率が高く、肝線維化のステージを反映することから肝線維化マーカーとして知られています。

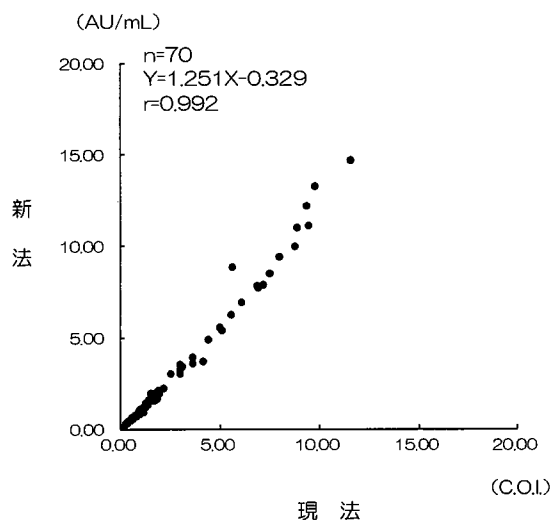
従来法によるカットオフインデックス (C.O.I.) から定量値となることで、肝線維化の進行をより詳細に評価することが可能となり、慢性肝炎や肝硬変の早期発見から治療方針の選択・モニタリング時の検査としてさらなる活用が期待されています。

▼検査要項

	新	現
検査項目名	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi)
項目コード (4桁コード)	2550000 (6191)	2529100 (5459)
検体量	変更はありません	血清 0.5 mL
容器	変更はありません	生化学
保存方法	変更はありません	冷蔵
所要日数	変更はありません	2~4 日
検査方法	変更はありません	CLEIA
基準値 (単位)	0.84未満 (AU/mL)	(-) 1.00未満 (C.O.I.)
報告範囲 (単位)	0.10未満、0.10~59.9、60.0以上 (AU/mL)	0.10未満、0.10~20.00、20.01以上 (C.O.I.)
検査実施料	変更はありません	123 194点 (「D007」血液化学検査「50」)
判断料	変更はありません	144点 (生化学的検査 (I) 判断料)
備考	変更はありません	

- ①「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」は、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。
- ②「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」と「プロコラーゲンⅢ-ペプチド(P-Ⅲ-P)」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ③「ELFスコア」と、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」、「オートタキシン」又は「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

●相関



- 参考文献 Uojima H, et al : J Gastroenterol 58 (12) : 1252~1260, 2023.
(検査方法参考文献・臨床的意義参考文献)